

JICA TOHOKU

独立行政法人国際協力機構

JICA×AOMORI

JICA 青森デスク

— 信頼で青森と世界をつなぐ —



Phone

[080-3140-2129](tel:080-3140-2129)



E-mail

jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp



Social Media

<https://www.facebook.com/Jicatohoku/>



Address

〒030-0803 青森県青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム2階
(公社)青森県観光国際交流機構

【草の根技術協力事業】<ベトナム>ハイフォン市における啓発型健診のための人材養成
ベトナム・ハイフォン市でQOL健診（啓発型健診）を実施（弘前大学様）



2024年11月1日

研修員受入事業



JICA東北では、東北地方の持つノウハウを活用し、開発途上国で必要とされている知識・技術を伝えて各国の課題解決に役立ててもらおうことを目指し、関連の政府機関・自治体・企業・大学等の協力を得て研修員受入事業を行っています。

研修員受入事業（短期）〈2024年度計画〉：東北センター所管分

教育（11名）

教員養成課程のアップグレード(教師が変われば未来が変わる)（弘前大学）

畜産（6名）

SDGsに配慮した包括的な畜産振興の取り組み（家畜改良センター）

その他、1コース15人が青森市を訪問。

JICA留学生（14名：主に保健学、バイオ、機械、産業、電気）

弘前大学（2名）

SDGsグローバルリーダー：2名（インドネシア）

八戸工業高等専門学校（12名）

タイ借款：12名（タイ）



【研修員受入事業】理科教材の体験：遺伝／五所川原農林高等学校の施設見学



市民参加協力

ボランティア事業

JICAは市民をはじめ、民間企業、NGO、自治体などとの協力のもと、開発途上国で幅広い活動を行っています。国内においても、全国に拠点を置き、地域の特性を生かした、国際協力の事業を展開しています。

JICA海外協力隊 ※2024年11月1日現在

派遣中隊員（15名）			
派遣国	職種	派遣国	職種
ルワンダ	野菜栽培	パラオ	理科教育
セントルシア	視聴覚教育	ブータン	PCインストラクター
フィリピン	家畜飼育	セルビア	柔道
チリ	観光	ガーナ	障害児・者支援
ケニア	青少年活動	ブラジル	日本語教育
マラウイ	小学校教育	タイ	陶磁器
アルゼンチン	相撲	ラオス	看護師
マラウイ	障害児・者支援		

※県内の各自治体に表敬訪問に行った隊員（コロナ禍による未表敬者も含む）

派遣中含む累積隊員数（549名）

※出身地が青森県の隊員



【JICA海外協力隊】蝦名雄三さん（ソロモン/林業・森林保全）青森県出身

開発教育支援事業

開発教育（国際理解教育）支援事業 2024年度実績

国際協力出前講座（実施：2件 受講者数：81名）

青森県立八戸中央高等学校定時制（39名）

青森市立浦町中学校（42名）

訪問学習（実施：0件 受講者数：0名）

連携協力に関する覚書

株式会社青森銀行

業務連携・協力に関する覚書

締結日：2017年4月21日





民間連携事業

民間連携事業（実施中）

株式会社たから（三戸郡田子町）

<フィリピン> 黒ニンニクバリューチェーン普及・実証・ビジネス化事業

実施期間（2023.11-2026.8）

株式会社ムジコ・クリエイト（弘前市）

<ミャンマー> 安全運転教育ノウハウの導入による交通事故削減のための基礎調査

※契約準備中（2020年度採択）

外国人材受入・多文化共生事業（過去実績）

東北の企業・団体（東北地方）

オンラインセミナー「外国人材受入と地域との共生：壁を超える!ためのヒント」

2022年度

東北の企業（東北地方）

東北企業のための外国人材育成・活用・還流 実現セミナー

2021年度

東北全域

東北における外国人材の現状・課題等に関する調査

2020年度

草の根技術協力事業

草の根技術協力事業（実施中）

弘前大学（弘前市）

<ベトナム> ハイフォン市における啓発型健診のための人材養成

実施期間（2023.01-2026.01）

北里大学獣医学部（十和田市）

<ミャンマー> ミャンマー酪農生産性向上プロジェクト

※契約準備中（2019年度第1回目募集採択案件）

国際協力機構債券(JICA債)



JICA債

投資表明

青い森信用金庫

公益財団法人青森県市町村振興協会

外ヶ浜町

詳しくはコチラ

